

内田氏：日本パイプスモーカーズクラブ（J P S C）創立40周年記念パーティ祝辞

四十年おめでとう、四十年は大航海の一区切りに過ぎません、更に前途の大発展を祈念いたします。

## 冬初め J P S C 四十年

41年前最初の設立の地鳴りを起こした震源者  
故岡部一彦氏に感謝  
こしらえたら入れ！と岡部さんの切り口上で同志を募り、先達となり  
戦国野武士群をまとめ設立に寄与された関口さん内藤さんに感謝  
その他たくさんの同志たちに感謝  
来年35周年を迎える日本パイプクラブ連盟も J P S C が震源地となり各地に  
パイプクラブが生まれ現在に至って居ります  
歴代会長始め運営の主軸となる J P S C の各位のさらなる向上発展と団結を祈ります  
若い会員の皆さん いつも笑顔での交流を祈ります  
暗い表情は天気で云うならば曇空！ハキハキとからっと晴れた青空精神で先達になっ  
てください

## 銀座の空にパイプのけむり ぼくの思い出 J P S C 例会

昭和45年頃 月一回の「よしだ」そばやの例会  
パイプのサムライたちが  
車座でけむりをまきちらす  
けむりで目を覆う  
着火五分位で窓明けが始まる  
けむりは会場のたたみ部屋を  
すーと抜けて蒸気機関車のけむりの様に  
走り去ってゆく

あとはまつりのかけ声の様に  
いろいろな喋りが飛び交う  
それぞれ分野の大將たちが  
芸を語り競技の集中を  
妨げ！笑い楽しみ合う  
その頃各自がよしだに注文した  
酒やそばや種ものが運ばれて来る  
仲居さんがあきれ顔で

注文品を配って行く  
これからは競技中の二次会の様に  
それぞれが飲み喰べ  
笑いや苦情、世相批判が  
皆なの口からはき出される  
いい気持ちの中で一人が消え  
二人が消え競技は終点に向う  
優勝者は照れつつ語り  
落伍者たちは煙草に友人に  
八つ当たりして閉幕する  
ぼくは成績はいつも足軽クラス  
入賞などほど遠かった  
しかしこの会友たちの  
会話や駄口の素晴しさが  
いつもぼくの心を楽しく満たしてくれた  
楽しい団らんのひとときだ  
J P S Cの例会は素晴らしい集いで  
銀座に千葉から通い続けた  
ぼくはいつしか窓開け係りの役付となり  
銀座の空を行く煙たちを  
毎回眺め続けた